

会 議 録

- 1 会議の名称 令和5年度 保健対策推進協議会
- 2 開催日時 令和5年7月6日（木）午後2時～3時30分
- 3 開催場所 熊取ふれあいセンター 1階 健康づくり室
- 4 議題 案件① 役員選出
案件② 令和4年度保健事業実施状況報告及び
令和5年度実施計画について
案件③ その他
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 傍聴者数 0人
- 7 審議等の概要

案件① 役員の選出について

○結果

委員の互選により、会長に泉佐野泉南医師会代表の伊藤委員、副会長に自治会連合会会長の藤原委員を選出。

案件② 令和4年度保健事業実施状況報告及び令和5年度実施計画について

○事務局説明

「資料1-1 母子保健事業」、「資料1-2 予防接種事業」、「資料1-3 健康増進事業」、「資料1-4 特定健診・特定健康指導事業」、「資料1-5 一般介護予防事業」「資料1-6 広域医療対策事業・その他」「資料1-7 新型コロナウイルス感染症対策」の各事業の令和4年度実施状況及び令和5年度実施計画について報告。

案件③ その他

○事務局説明

「資料2 第3次健康くまとり21推進 ライフステージに応じた健康づくりの推進」について説明。

その他、配布資料により、「妊娠、出産期から子育て期にわたる切れ目のない支援」、「熊取町産前・産後ヘルパー派遣事業」、「受けていますか？がん検診（無料のがん検診追加）」、「がん患者のための医療用ウィッグ等購入助成事業」、「若年がん患者のための在宅療養支援事業」、「がん検診等 Web 予約システム」、「大阪公立大『ナトカリ』ってなに？」等について説明。

○主な質疑応答

【委員】 町内のコロナの感染者数などの感染状況はわかるのか？

【事務局】 コロナが5類感染症に位置付けられたことにより、各医療機関から件数の報告はなく、定点での把握となるため、町内の感染者数はわからない。府や国の状況はホームページで見ることができる。

【委員】 最近、周りでコロナに罹った話をよく聞くが、増えてきているのか。

【事務局】 第9波の入り口と考える。3月頃より患者数は少ないが同様の動きで、これから秋に向けて増える予想で、動向を見守っている。

【委員】 高齢者の一体的事業について。コロナの影響でフレイルが増えていると思われるので、今後ハイリスクアプローチやポピュレーションアプローチが重要と思う。動かない・外に出ないという方を、今後は、町としてどのように運動をする方向へと取り組んでいくのか

【事務局】 健康・いきいき高齢課では、タピオステーションをはじめ、75歳以上の後期高齢者医療健診時の問診票などから必要に応じて、ひまわりドームの運動などを案内している。介護保険課では要支援認定申請時に、ふれあい元気教室に誘い、3カ月間の取り組みで筋力アップが図られ、生活での課題解決につながっている。また、長生会や健康くまとり探検隊などの住民グループの取り組みなど、連動して取り組んでいきたい。

【委員】 40歳からのフレイルも増えているので、広く周知も必要と考える。

【事務局】 「大阪府働き世代からのフレイル予防」のモデル事業に取り組んだことをきっかけに、体組成計を購入し、集団の特定健診時で30歳以上の受診者に対して測定をし、啓発の機会としている。

【委員】 4カ月児健診時のデータより、毎日ご飯を食べないお母さんがいることが心配。また、お子さんの朝ご飯が用意されているのかも心配。学校で朝食を用意しているところもあるようだが、ちゃんと食べることの大切さを伝えてほしい。

【事務局】 職員も気にしており、4カ月児健診時だけでなく、妊娠届時や妊娠8カ月時の電話のタイミングでも聞き取りを行っており、必要に応じて指導している。

○主な感想・意見等

【委員】 特定健診などの受診率は、人生100年時代を目指すには低すぎるので、7割を目指したいところ。

【委員】 コロナになってから、行事に参加される方が少なくなっている。これからは、どんどん出てきて欲しい。

【委員】 ナトカリ比に興味があり、塩分摂取チェックシートをしてみたい。

【委員】 ライフステージに応じたたくさんの事業をされている。住民主体の健康づくり、お母さんに寄り添った子育て支援など、必要なものを見直しながら新しい事業を進めており、素晴らしい。

8 審議会の情報

名称	保健対策推進協議会
根拠法令等	保健対策推進協議会規則
設置期間	平成25年4月1日～
所掌事項	次に掲げる事項についての審議、企画及び推進 (1) 健康に関する知識の普及 (2) 保健、栄養、食生活改善等の指導 (3) 健康に関する各種の集会、講習等の開催 (4) 健康相談、健康診査、その他健康を推進するための事業 (5) その他保健計画に関する調査及び保健計画策定等の検討、 評価並びに見直し
委員数	14人

9 担当課 健康・いきいき高齢課